

# 知的生産の技術

## 021216 野田先生の講義を聞いての感想

タイプ

1

壮大だ、山のように行動が早い、まさに風林火山の人だと思った。いいとした大人は考え方が賢く、融通がきかないが、前例や常識、たてまえを嫌い、常に新しい考えを生み出してこうと思ひ、それだけでなく行動に移す人だというのが、話を聞くだけで分かった。負け組みになりつつあるこの大学にまた学長として戻ってきて欲しい。このままじゃ、この大学はダメ大学になると思った。またはなしを聞きたい。

事業構想学部がなぜこんなに個性的な学部であるか分かりました。いろいろなシステムがなぜあるかも分かりました。でも、それと比較すると私たち看護学部はどうなのかなあと思いました。

私はこの夏にオーストラリアに行ってきました。そして日本との大きな違いを感じました。日本はこのまま負け組になっていくのではないかと思います。今までと違った視点で行動していかなければいけないと思ひました。

「賢しく、清く、美しく」はほとんどありえない」といふ野田先生の言葉は、正直納得できません。貧しくても清く、美しい人はいると思ひます。たった1度の人生。自分の才能を發揮できた最高だと思ひます。自分の才能を發見し、自分の才能を思いっきり發揮するためにも、大学での講義、自分の好きなこと(ボランティア)を通じてキャリアを開発したいです。

昨日の夜に、「明日は野田先生の講義だ!」と思ひたら楽しみでなかなか眠れませんでした。とても印象に残ったのは「高い地位につくことは自分の才能を發揮できるようになること」といふ言葉でした。

実は職業は何でもいいかなあと思ひてしまう部分もありましたが、今日の先生のお話を聞いて、考えが揺らぎはじめています。残り15分の話の聞けるのを楽しみにしています。

タイプ

2

「パフォーマンスも上手い人」といふと一般に「パフォーマンスだけの人」のように思われるが、野田先生を見ていると、先生は本当に「人前で話すのが好きな人」なのだと思ひました。まさに「職業は自分の個性を社会に發揮する場(手段)である」といふご自身の言葉を体現しているように思ひます。もう一つ、野田先生は言い方は断定的だが、物事の価値を広く広く認めようとしている部分があるように思ひます。

Carrierとcareerの違い、careerの大切さが分かりました。自分はまだ1年なので、就職先まで考えていませんが、夢はあります。その夢が達成できるように宮城大学の4年間でできるだけ多くの知識とcareerを得るため、頑張りたいたと思ひます。野田先生の魂のこもったお話を聞いて、更に頑張ろうと思ひました。貴重なお話、ありがとうございました。

野田先生のお話の面白さと情熱で、体の中から熱くなってきて、上着を一枚脱がなくてはならない位でした。自分らしく生きることが本当に自分の人生にとって大事なことなんだということがとても伝わってきました。人生は戦いなのだと思ひました。戦うことは辛かったり、疲れたりしますが、それは充実した人生につながる事なんだと思ひました。野田先生の存在自体が私に勇気を与えてくれるものとなりました。これも出会いなのだと思ひました。とても楽しくありがたい講義で自然に涙が出てきました。ありがとうございました。

タイプ

3

実のある人生をおくるための活力をもらった。前向きになれる心と初心にもどるきっかけをいただいた。自分形成を色濃く彩り鮮やかに。野田先生の話に「学生時代の質問の視点」についてあげられましたが、鋭い質問の秘訣は何でしょうか。話を聞き、そしてどこに脳細胞ベクトルを向けるのか

- \* 「3つのイメージの悪い職業」の残りの2つをお聞きしなかった。
- \* 宮城大を勝ち組にするためには?といふ話をもっと詳しく聞きたかった。
- \* 次回宮城大学の学長に誰をどういふ方を推薦されるか
- \* 野田氏の失敗談をお聞きしたい。宮城大の経営上の失敗(失敗と取るものではないのか?)についてどう思われるか。
- \* 宮城大は年々活気がなくなっているように思ひます。開学当初の活気は何によるものだったのか?やはり学長?
- \* 「続き」はいつ頃お聞きできるのでしょうか。楽しみです。

前期にも野田先生の講義を聞きましたが、今日も新鮮さを得ることができました。宮城大学があいさつをしない学校になってきた、といふので、自分は今まで相手からの反応を期待していましたが、あいさつとはそういうものではないといふことを強く実感した。

「職業とは自分自身の個性を世の中に結びつける媒体」といふことで、この講義でやっている自分史作りが深く関係しているのだと思ひました。今自分の目指している職業が、本当に個性を發揮する媒体となっているのかを自分史で見つけていきたいです。自分にしかないcareerを身につけ、胸を張って生きていきたいです。

# 知的生産の技術 021216 野田先生の講義を聞いての感想

タイプ  
3

いろんなことを考えてしまいました。私は自分の人生にとっても期待を持っているので、今の時期に自分史を考えるということはこの上なくプラスだと思っています。野田先生もおっしゃっていたように、「自分とは何か」という自己分析を深めていきたいと考えています。出席してよかったです。

タイプ  
4

職業と個性がつながっているというのを聞いて、大変勇気づけられた。私も自分の個性・得意を活かした職に就きたい。またお話を伺いたいと思います。

今日は遅刻してきましたので、最初の30分程を聞いていません。私自身が社会人としてのキャリアを一旦ストップしてでも宮城大学に行ってみようと思えたのは、野田先生の考えが大学運営に反映されていた時代の評判だったなということです。貧しくとも清く美しくの話が面白かった。

野田先生の話は人を引きつける魅力がある。また、私自身の迷いや悩みを少なくする助けになった。自信を持って人生を楽しみたい。そんなことを思わせる講義だった。

自分を活かせる仕事を選ぶこと、又、そうでない仕事だとしても、仕事から何かを得ることが必要なんじゃないか。それは大学で勉強することでも同じように当てはまるのだと思う。私は自分のcareerにつながる勉強を大学から獲得しよう(むしろ“してやろう”)と思っている。

時代のニーズの変化は次から次へ変わっているものだと思う。どんな時にも適応する能力も獲得していかなければならないと思うし、とても難しい。

野田先生の講義を聞いたのは2回目でした。今回もよい刺激を受けました。今まで抱いていた職業に関するイメージががらっと変わりました。私も自分自身をじっくり見つめて、自分の個性を活かせるような職業を探したいと思います。

考え方が変わった。物事の発想や捉え方も変わるような話だった。とても楽しい講義だった。

はじめてみました。迫力満点の話で圧倒されました。

野田先生の講義を聞いたのは2回目ですが、やっぱり面白くためになる話でした。私は看護なので、事業構想の人が少しうらやましくも感じましたが、職業は個性を發揮できる媒体」ということなのでこれから自分で何ができるかを一生懸命あと4年かけて考えていきたいと思えます。先生は私の祖父とだいたい同じ年ですが、先生はととても若々しく大きく見えました。私も70歳になったときに、自分に満足したいなあと思いました。

今日は職業につくこと、とりわけ「career」について講義されていました。講義中何度か「つまらない授業であったら抗議する権利がある」と言って、「今日は抗議がないじゃないか?」と言っていました。つまらなかつたので抗議する余地がなかったです。更に抗議して打ち勝つだけの知識それこそcareerが今の自分には足りないです。この残りの大学生活で個性を知り磨き、careerを身につけているよう努力したいと考えさせられました。ありがとうございました。

初めて野田先生の講義をお聞きしました。聴衆に語りかけるような口調と身のこもった話は、とてもためになりました。言葉の一つ一つが心に響きました。野田先生は「話すのが好き」とおっしゃっていましたが、これまで先生が経験してきた様々なことを多くの人に伝えたいからなのでしょう。私はどちらかと言えば、話を聞くことのほうが好きです。話を聞くことで多くのことを吸収したいという思いがあるからです。しかし、一方では、自分を表現するのが下手だという理由もあります。きっと過去に経験したいじめが原因だと思うのですが…

過去の様々な出来事を未来に活かすためにも、今は人生のステップ段階として頑張りたいと思います。今日は先生の話が聞けて、本当に良かったです。

自分に合っている職業、やりたいことが分からない。「自分」が分からなければ何も出来ない。この授業を通して自分を見つめたい。野田先生は「自分に適していない仕事なら辞めれば良い」と言っていたが、今、この学部が自分に適していないような気がする。これはもう一度自分のやりたいことを考え直すべきなのだろうか。また、先生は「ダメな先生には抗議しろ」と言っていたが、それが評価に響くことか、むしろだろうか。私もこの大学に入ってどちらかという絶望した。授業は先生の自己満足なのではないか。生徒が学びにくい環境をつくっている先生も実際にいる。これは生徒がどうかしなければいけないことなのだろうか。

野田先生は言った。「たった一度しかない人生をどう生きるか。自分を見せつけてやれ。堂々と生きる。」その通りだと思った。大学ははっきり言って期待外れだった。講義はつまらないし、土地は不便だし、食堂は高くてまずい。私はもう殆ど大学に対して熱意を失っていた。だが、それなのに大学に金を払って通っているなんて、時間も金も勿体ない。どうせなら楽しまなきゃ。野田先生の講義を聞いてそう思った。今回の講義は私の大学生活に息を吹き込んだ。野田先生、私はあなたの元で学ばれたかった、そう思った。つまらない講義も、まずいめしも、私を変えようと思えば変えられるんじゃないかと思った。足りないのは勇気だったのかもしれない。どうもありがとうございましたと伝えたい。

# 知的生産の技術 021216 野田先生の講義を聞いての感想

タイプ

4

一度野田先生の講義を聴いてみたいと思っていたので、今日は良かったです。講義は今までの固定概念を打ち消すような内容で聞いていても興味深く面白かったです。講義を通して個性を発揮して生きる」このことを今後頭においていきたいと思います。そのためにまず自分とは何か？をこの知的生産の授業を通して考えていきたいです。これから生きて行くうえの第一歩の大学生活をしっかりと送っていこうと思います。また講義して欲しいです。

大学や日本という国がつまらないという話をされていましたが、まさに自分が思っていたことで共感できました。この学校つまらない講義、納得のいかないカリキュラム、8:30になっても出社していない一部の事務の人、学生の声が反響できない学校の体制あまりにもつまらなすぎて学習すら気も減る一方の毎日でしたが、先生のお話を聞いて、自分の当初の目的を思い出し、自分のためにもまた頑張ろうと思いました。学生時代よりも職業の時代の方がずっと長いのです。自分の幸せの為に自分自身の個性が発揮できる分野をきちんと見極めたいと思います。

タイプ  
5

私は「自分とは何か」を探している最中です。野田先生は、目標や夢を見つける力があり、信念を持って生きているから、こんなに楽しそうで、充実しているのだと思いました。

野田先生は仲の良い人と話をするようにすらすらと話し、圧倒された。話の中にkeywordがたくさんあって、内容が濃いなと思った。今まで聞いたことのない、ためになる話だったと思う。

野田先生の講義は「面白い」というよりは、自分が気づいていなかった側面に気づかされる講義だった。大学がつまらないとか嘆いているだけでは何も変わらない。自分で動き出さなければ、環境は何も変化しないのだ。自分は興味を抱く対象が少なく、今まで講義も機械的に受けているだけだったが、それでは何も得るものがない、と気付いた。私には夢中になっているものがあるのだが、それを行うには様々な知識が不可欠なので、いろいろな物に手を触れ、自分をもっと深めたいと思う。

世間一般が知っている事と違って、野田先生の話は物事の本質についていると思った。特に「幸せとは自分の個性を思う存分発揮すること」という話にはかなり共感できた。自分をしっかりとっていききたいと思う。

タイプ 6

大変素晴らしい講義でした。野田先生の講義は全くませんでした。入学してから初です。前期よりも後期の授業もほとんど睡眠学習で、今までの自分は「負け犬」でした。これからは負け犬にならず、先生に抗議できるような人間になりたいです。

キャリア開発・大学教育・人生について、見方が変わりました。勝ち組になりたいです。航空学科が廃止されたら、普通はあきらめて絶望してしまうと思います。だけど、野田先生は違う分野でキャリアを開発して、すごい人だなと思いました。

タイプ

7

魅力的な話し方をする方だなという感想を持ちました。話の内容も、出世の話、学歴の話様々ありましたが、どの話にも自分自身の志や目標、心を持って行動していくことが大事だといわれるような気がしました。また、ゆっくり野田先生の講義を聴いてみたいと思いました。職業につくということは自分自身の個性を世の中に結びつける媒体になる、という言葉に驚き、感心しました。私も先生のように強く生きていきます。たくさん本を読んで、様々な知識を身につけようと思います。

野田先生の話聞いて大変勉強になりました。職業の選択についても自分と相談しながら決定することとても参考になりました。自分という物を持って社会どこに行っても通用する人間になりたいと思います。今まで大学に来て生活してきて、また改めて考え直す機会ができて、また講義に来ていただきたいです。個性を発揮する改めて考えさせられました。今の自分に足りないものもあり、残りの大学生活、意義のある生活を送りたいと思います。

資料捧読みの講義と違い、眠くならなかった。ところどころに興味の湧く話はあった。視野の広い人だと思った。

40代の科目履修生です。自分は高校生から20代前半まで独学をしながら、職業(仕事)観について、とても悩み考えました。そんなことで先生のお話にはとても勇気づけられました。大学の先生も頼れる先生が増えてもらいたいですね。またお話を聞かせていただけることを楽しみにいたしております。

# 知的生産の技術 021216 野田先生の講義を聞いての感想

タイプ  
7

今日も野田先生にとってもよい刺激をもらいました。残りの15分の話聞きたくて仕方ないです。自分にとって職業とは何か、自分はどうしたいのかと考えているのですが、その答えにまた一歩近づけた気がします。「自分とは何か」を知ることの重要性を改めて実感しました。この授業を通して、「自分とは何か」について考える機会を得ている自分は恵まれていると感じました。年末年始の時間を自分の為に有効に使おうと思います。

勝ち組」か「負け組」の話は興味と自分の考えに合致したものでした。誰でも当たり前ですが、「勝ち組」になりたいはず。個性を出せるのが職業ではなく、職業が個性を出すという考えには自分は持ってなかった考えですが、今の自分の考えとてらしあわせた時、納得するものでした。野田一夫先生は「日本」という国を自分も含め、生徒も愛しているといましたが、私ははっきりいって好きか嫌いかわかりません。先生と同じように政府や日本の体制には納得しませんし、日本は今「負け組」であると私自身思っています。また、大学に対しての考えはしっかりとした自覚を持っています。確かに多くの学生は大学を目的として入っていると思いますが、私にとっては卒業する意味はありません。自分を伸ばすために入っているわけですし、自分をみがくために入っています。話がまとまりないものとなってしまいましたが、自分の話を聞いて元気と自分に勇気が出て、目標をはっきりとさせたら、それに向かって進むことができます。今日は、有難うございました。

あっという間に時間が経ちました。やりたい事をやっているせい、外見も凄く若く見えました。私も将来、なりゆきではなく、やりたい職業を見つけ先生のようにいつまでも若くいたい。また、つまらない授業は寝たら、他の事をやったりせず顔を上げていようと思いました。

野田先生と対称的に何か手を加え、加工しさらにのびすということをしていきたいと思っている。先生の話や聞きと気持ち引き締まり積極的に行動できるので、いい話をまた聞けたと思った。

タイプ  
8

キャリアは長年の間で身につけた能力と聞いて、まだ19年間しか生きていない自分の中で、キャリアと呼べるものが、安の定なかった。自分は何事にも、感動やひらめきを感じにくいので、野田先生のように、今後の人生を左右する衝撃が得られるのか疑問になった。でも、野田先生がいったようにもっとアグレッシブに生きていこうと決めた。

タイプ  
9

動き続けている時代の流れに置いていかれないよう流れに乗れるように努力したいと思います。

野田先生の講義は幅広い分野から話をしていて、話のテンポもよく面白かった。職業は自分の個性を結びつける媒体」ということを聞いて、個性を出していこうと思った。教台の上からでなく、近い目線で講義して下さったので、よかった。

今日、初めて野田先生にお会いしましたが、噂通りに若々しくはつらつとした方だなと思いました。そして、今日、先生が「今の大学生は大学に入るのを目標としているから、大学に入ると目的をなくしてしまう」とおっしゃったのを聞いて、自分にも当てはまるなと思いました。今まで私は「大学に入る」と言うのを第一の目標として考えていました。そして、今、大学生になり看護を学んでいますが、正直、自分の将来の目標は定まっていません。今日、お話を聞いてこのままではいけないなと思いました。早く私の真の目的を見つけ、有意義な大学生活を送りたいと思います。

今日、先生の話聞いてとても面白かったです。高校の時一回野田先生が講演して下さったのですが、その時は周りの生徒がうるさくて先生が怒ってしまい、きちんとしたお話は聞けませんでした。しかし、今回の話を聞いて、自分の知らない考え方、現在の現状を聞き、自分にとって新しい思考回路ができたと思います。つまらない授業に対して抗議する権利確かに私はこの大学に入って少し残念に思ったことがあります。しかし、抗議をしたくてもしませんでした。今の若者は個人では行動しません。集団でなければ行動には移さないのです。自分でそれは良くないと分かってはいるのですが、それを壊すことができません。しかし、野田先生の抗議で少し頑張ってみようという気がおきました。有難うございます。今回の話は私達だけでなく、この大学全員、特に先生方に聞いて欲しかったです。

キャリアとは、自分の知識・経験を生かして職業につく印象的だった。キャリアは個性を発揮することであってその人がいる事によってたくさんの人をうるおすことができることだと言うことを聞き、自分の個性を生かせるということは本当に幸せなのだわかった。最初の職業の選択は慎重にした方がいいということも聞き、納得した。私は今年編入したが、就職するか進学するか悩んだ時に自分のやりたい(健康師として働く)事は進学しないと達成できないと思い進学したわけだが、悩んだ分、今はとても満足している。今後とも自分が発揮できるよう過ごしていきたい。

# 知的生産の技術 021216 野田先生の講義を聞いての感想

タイプ 9

野田先生の話術は大変面白くて、しっかり引き込まれていました。職業に対する見方が少し変わったような気がします。先生がいらっしゃる大学だったら、もっと楽しかったのではないかと思います。少し残念です。また是非、野田先生のお話が聞きたいです。いつかまた企画してください。

この大学に入って、こんな楽しい講義は初めてだった。今、自分をつきたい職業がない。しかしこの4年間で自分という人間を理解し、様々な知識や技術を習得したいと思う。そして、つきたい職業を見つけて、自分の力を発揮できる仕事につければと思う。本当に素晴らしい講義でした。ありがとうございました。

ずっと真剣に話を聞いていたが、とても話の上手い人だなあと思った。言葉につまることなく、スラスラと言葉があふれ出るように話をされるので、話にひきこまれました。自分の意思を大事にして生きている人だなあと感じました。また、職業についても、まだ漠然として悩んでいる状態なので、野田先生の話はいいアドバイスになりました。私の父も技術者で、尊敬する人だったので、野田先生が父親のことを尊敬する気持ちに共感した。

大学の教授で、あんなに活力が合って、自分のことを知っているような先生には初めて会いました。それから、野田先生はとても自分や個性というものを大切にしていました。そんな先生が作った宮城大学について自分の個性を磨いていけないのは、とても恥ずかしいことだと思いました。キャリアという言葉について、今まで誤解していた部分もあったということに気がきました。

職業選択の時、またこれからたった1度の人生を生きて行く上で、「自分」を理解していることがいかに大切かということがとてもよく分かりました。私も今やっている看護についての知識や技術を少しずつ自分の中に積み重ねていき、その成果を十分に発揮できるようにがんばりたいと思います。社会に必要なとされる人になれば嬉しいです。

「キャリア 個性を発揮すること」という言葉がとても印象的でした。全体的に先生の話しを聞いていて、考え方にエッセンスをもらったように思います。また機会をつくって欲しいと思います。

先生がおっしゃった「人生の目標は大学へ入学することだと考えている学生が多い！」という言葉に強い感銘を受けました。なぜなら自分もその学生の一人だからです。今日の講義でこれからは人生のキャリア開発の第一歩だと勇気づけられました。大学の講義で自分のキャリアを磨き、これからの一度きりの人生を素晴らしい物に変えていきたいと思っています。

おもしろかった。たった一回しかない人生を堂々と生きられるように、がんばりたいと思った。つまらない講義に負けないようにしたい。

いろいろな経験、出逢いなどを通して、自分について更に知り、自分を作り上げていきたいと感じた。また、自分の意見を言えるようにと、発言されていた。看護では、自分の意見・考えをきちっと伝えられることは非常に大切なこととなる。私自身の意見を人に伝える姿勢を大事にするとともに、他人の意見もしっかり受け入れることもしようと思う。

およそ2年ぶりにお聞きしましたが、やっぱりいつ聞いても元気が出ます。

個性を発揮することが自分の満足のいく人生のためであり、それが人のためであるとすれば、自分は早く「自分を知る」作業をある程度進めなければならないと思った。ただ、「自分を知る」ステップ方法は全く見えていないが・・・今後1番大きなテーマを野田先生の話でよりハッキリとさせることができました。「自分を知る」ということの大切さを教えていただき、ありがとうございました。

野田先生は本当に話が上手く、楽し聴けました。確かに宮城大学の先生方ははっきり言って話が楽しいわけではなくつまらない授業が多いです。宮城大学も勝ち組となり、素晴らしい先生方がいてくれたらなあと思います。自分で楽しくする努力も大切だと分かりましたが、もっともっと楽しい授業を増やすべきです。野田先生に戻っていただきたいです。また、自分の個性の発揮が幸せというのは納得いきました。でも、自分の個性を発揮するにはまず、「自分」を知らなくてはいいけないと思いました。野田先生は若く、50代に見えます。

野田先生の講義はとても興味深く、すっかり聞き入ってしまった。自分は今、当たり前のように毎日大学へ来て講義を受けている。その中には面白い講義もあれば、つまらない講義もある。たった一度しかない人生を堂々と生きるためにはこのままではいけないと思った。年季を積みかさなえて知識や技術を身につけていくために、今しっかり考える時期であると思う。自分を見つめ直そうと思う。野田先生、素晴らしい講義をありがとうございました。素晴らしい職業につき、素晴らしい人生を送るためにこれからもがんばります！

# 知的生産の技術 021216 野田先生の講義を聞いての感想

タイプ

9

野田先生は改めてすごい人だと思いました。周囲の方達もすごい方達ばかりでびっくりしました。先生は輝いていらっしゃいました。質問ですが、先生にも自分の人生に後ろ向きになったことはなかったのですか？

想像もつかないくらいパワフルでした。

自分の人生を見つめ直し、自分に合った職業をもう一度考え直し、これからの人生に磨きをかけていきたいと思いました。私は今までの人生にとても満足しています。これからもがんばりたいです。

まず、率直に「教授らしくない」方だと思いました。(えらそうでないという意味で...)「前例、しきたりが嫌い」という言葉は、よく分かりました。お話も上手だし、よく自分を知っている方だと思いました。「自分の人生に満足している」と胸をはって言うということはとっても素晴らしいことです。とても5歳には見えない程若くて、パワフルなお話でした。先生みたいな方が日本に増えていったら、少し変わっていくのかなあとと思いました。職業や結婚など、人生についていろいろ勉強になりました。

1年生から何回か野田先生の話をお聴きしているが、いつ聴いても新鮮で感心している。同じ話であっても毎回感じ入ってしまうのは話し方が上手いからだろうか。

自分の個性を十分に発揮して、人生を楽しく送っている野田先生はすごいと思った。講義がおもしろくて、いろいろ考えさせられた。野田先生みたいに、自分に自信を持って堂々と生きていける人間になりたいと思う。

また、野田先生の話をお聴きすることができて、感激です。仕事に対する考えという点でも、人間として生きて行くうえで、心持という点でも大変刺激を受けました。是非、また、野田先生のお話をお伺いできればと強く思います。

先生についての話は全く同感です。分かる授業をするのが先生だと思います。職について、今の世の中は自分がやりたいものに就けますが、父の時代だと家業を継がなければならないこともあって、やりたいことができなかったそうです。そういう意味では、現代は良い世の中だと思います。大変おもしろくて、ためになる講義でした。野田先生の考え方が好きだと思います。是非、またいつか聞きたいと思います。久々に良い話を聴くことができて、良かったです。

## その他

親の影響を強く受けているのだなあと感じた。自分なりの感想は、今自分のいる場所ががんばることが大事なのではないかと思った。そして、人との出会いを大切にすることも重要であると思った。

講義は戦いだ。野田先生らしい言葉だ。野田先生は全力で私たちに臨み、勇気や、希望を与えて下さる。このような講義ができる先生は本当に数少ない。

また、自分の父親のことを誇らしげに語って下さる先生の姿はまるで幼い少年に戻ったようで、そんな先生をうらやましく思った。いつまでも夢を持ち続けようと再認識させられた。大学生活は納得がいけないことも多いが、それを変えられるのもまた自分自身にかかっているのだ。今日は忙しいところ、有難うございました。

話すのではない、演じるのだ」を実践していらっしゃるの、話に引き込まれました。「75年の人生に大変満足している」という言葉がしみじみと良い言葉だと感じました。たった一回の人生をどう生きて行くのか、というのは私自身にとってずっとテーマであり続けたいと思いますが、今回野田先生のお話を聴いて「どう生きて行くか」について改めて考えるきっかけになりました。職業を通して個性を発揮できる人生を是非歩みたいです。そのために残りの1年半弱を大切に過ごそうと思います。今日は楽しかったです。有難うございました。また、自分を信じて進んでいくための強さが今の自分に必要だと実感しました。今日の残り15分間、また聞きたいです。

野田先生は仕事が大切だといったのではない。自分の能力を生かすことが大切だといったのだ。その活かす場所が、仕事だといっているのだと感じた。

自分にしか出来ないこと、自分の能力、そんなことに対する可能性を感じる。自分には自分にしかできないことがあるのだと思っている。

私がキャリアを積んで、あり地位になったら、野田先生と一緒に仙台を活気づける活動をしたい!!」ということです。日本を吸引力のある国にするためには、私達ががんばらなければなりません。今日は有難うございました。

大学はcareerの第一歩という話を聴いて改めてせっかく大学に入ったのだから自分のcareerになるような勉強をしておこうと思いました。日本はいつまでも市民平等だから優れた人が認められないのだと思いました。これではやる気も起ころなくなって、どんどん暗い社会になってしまうのではないかと思います。